道徳教育の全体計画（令和7年度）

沖縄県立那覇特別支援学校

関係法令等
・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・沖縄県教育委員会の目標

児童生徒像
(1)笑顔いっぱいで元気な児童生徒
(2)自らの思いを表現できる児童生徒
(3)素直でみんなと仲良くできる児童生徒
(4)目標に向かって可能性に挑戦する児童生徒

学校の教育目標
児童生徒の障害の状態や発達段階に応じて、小学校、中学校及び高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上、又は生活上の困難を克服するために必要な知識や技能及び態度を養い、自立し社会参加できる人間の育成を目指す。

教育目標を具現化する基本方針（抜粋）
教育目標の具現化するための目標は、健やかな身体と心を育てることである。
そして、そのために必要な知識や技能及び態度とは、
(1)「社会参加」(社会と関わり合う、様々な活動に参加する)する力を育てる。
(2)「自立」(持てる力を発揮し、自分らしく生きる)する力を育てる。
(3)「学ぶこと」を楽しみ、粘り強くやり抜く力を育てる。

道徳教育の推進体制
(1)児童生徒の発達段階を踏まえ学校の教育活動全体を通して適切に行う。
(2)各教科・各領域との関連を図る。
(3)児童生徒の実態に応じた全体計画、指導計画を作成する。
(4)家庭、センター及び地域社会との連携を図る。

道徳教育の重点目標
(1)障害による学習上、又は生活上の困難を改善・克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
(2)基本的な生活習慣の形成を図り、社会生活上のきまりを身につける。
(3)感謝と思いやりのある豊かな心を育てる。
(4)生命の尊さを知り自他の生命力を尊重する心を育てる。
(5)自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心を育てる。

小学部

・学校教育活動全体を通して豊かな道徳的心情を育てる。
・自他の生命の尊さを理解し、生活を支えている人々に感謝の気持ちを持ち、それにこたえる態度を育てる。

自立活動
・障害による学習上、又は生活上の困難を改善・克服する意欲を高め、集団や社会の一員として自立していこうとする心を育てる。

総合的な学習の時間
・自らの興味・関心に基づき、課題を見つけ、知識や技能を活用し、問題解決に向けての主体的創造的な態度を育てる。

特別活動
・望ましい集団活動の中で、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
・集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

道徳科
・学校教育活動全体を通して豊かな道徳的心情を育てる。
・自他の生命の尊さを理解し、生活を支えている人々に感謝の気持ちを持ち、それにこたえる態度を育てる。
・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲を高め、集団や社会の一員として自立してこうとする心を育てる。

中学部

・学校の教育活動全体を通して、望ましい生活習慣を身につけさせるとともに、感謝や思いやりのある豊かな心を育む。
・生命のかけがえのなさや大切さに気づかせ自己を見つめ、よりよく生きようとする意欲や態度を育てる。

自立活動
・生徒の障害による学習上又は生活上の困難にぶつかっても、それを克服しようとする態度を育み、未来を拓く実践力を育成する。

総合的な学習の時間
・自ら課題を見つけ、それを主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
・いろいろな体験を通して、興味・関心を広げ、豊かな人間性を育てる。

特別活動
・障害の状態や特性等を考慮した集団生活を通して、心身の調和の取れた発達と個性の伸長を図る。
・集団や社会の一員としての自覚と、自己を活かす能力を養い、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育む。

道徳科
・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

高等部

・学校生活全般を通し、自他のよりよい人間関係と態度を養い、感謝と思いやりのある豊かな心を育てる。
・生命のかけがえのなさや大切さに気づかせ自己を見つめ、よりよく生きようとする意欲や態度を育てる。

自立活動
・障害に基づく種々の困難にぶつかっても、それを克服しようとする態度やできる力を育み未来を拓く実践力を育成する。

総合的な探求の時間
・自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことで学び方や問題を解決する能力を育てる。
・体験的活動を通して、興味・関心を広げ、豊かな心を育てる。

特別活動（ホームルーム活動）
・障害の状態に配慮した集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
・集団や社会の一員としての自覚と自己を活かす能力を養い、よりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。

道徳科
・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

生徒指導及び児童生徒会活動

【生徒指導】
あいさつや返事などの基本的生活習慣の確立を図り、集団生活の中で規律正しい生活が送れるようにする。
○月別の生活目標の設定・推進
【児童生徒会】
児童生徒全員で集団活動や協力活動を体験し、学校生活を豊かによりよいものにする。
○児童生徒会行事の計画・運営
（年間1～2回程度実施予定）

交流及び共同学習

校種間との交流及び共同学習を推進する。
【小・中学部】
○与儀小学校との交流の計画・推進
○寄宮中学校との交流の計画・推進
【高等部】
○沖縄工業高等学校との交流の計画・推進

学校の環境の充実

・校内の緑化活動に努め、花や緑豊かな学校をめざす。
・校舎内外の整理整頓に努め、環境美化を図る。
・校内の掲示物にも工夫し、児童生徒の作品展示など活気あふれる学校をめざす。

家庭・センター・地域との連携

・家庭やセンター、地域社会との連携を図りながら日常的な基本的生活習慣の確立を図る。
・学校内外を通じた児童生徒の生活の充実と活性化を図るために「個別の教育支援計画」を活用する。
○センターのケースカンファレンス
○センター・学校連絡会
○保護者面談
○「お便り日」の設定
（学校・学級便り等の発行）